

沖縄県のがん登録の現状について

「－がん対策推進基本計画をふまえて－」

Report of the current cancer registration of Okinawa Prefecture

賀数 保明* 下地 実夫 桑江 なおみ

1. 沖縄県の概要

沖縄県は、日本の南西端に位置し、沖縄本島等 48 の有人島と、112 の無人島からなる人口約 135 万人の離島県である。

沖縄県の悪性新生物による死亡は、逐年増加の一途をたどり、全国に先駆けて昭和 52 年から死亡順位の第一位を占め、平成 18 年の死亡数は 2,522 人、総死亡数に占める割合は 27.7%となっている。

2. はじめに

沖縄県では、「悪性新生物登録事業」を昭和 63 年から実施している。この事業は、県内における悪性新生物の罹患状況、受療状況、生存状況等の集計を行い、その実態を把握して予防対策を講じることを目的としている。また、沖縄県では、平成 20 年に「沖縄県がん対策推進計画」（平成 20 年度～24 年度）を策定し、がん対策を総合的・計画的に推進していくこととしている。今回、平成 19 年度がん登録事業報告書（平成 16 年罹患集計）を基に、がん登録の現状や県の推進計画との関係について考察してみたことを報告する。

3. 方法

がん登録事業は、沖縄県が実施主体となっており、実際の登録事業は衛生環境研究所が行っている。登録の対象は、沖縄県居住者で、

1. 悪性新生物、2. 上皮内癌、3. 性状不詳の新生物の疾患と診断された者、または死亡した者となっている。脳腫瘍については、良性腫瘍も登録対象である。

4. 結果および考察

(1) 登録票、死亡票の年次推移

がん登録票及び死亡票は、医療機関届出と出張採録により収集を行っている。ここ数年、がん登録票と死亡票合わせて概ね 4,000 件～6,000 件前後が登録されている。平成 19 年は、がん登録票は 2,402 件、死亡票は 2,197 件であった（表 1）。

表 1. がん登録票及び死亡票収集件数の推移

	がん登録票 件数	内訳		死亡票
		医療機関届出	出張採録他	
昭和63年	313	313	0	0
平成元年	873	448	425	0
平成 2年	956	497	459	0
平成 3年	4,007	193	3,814	0
平成 4年	1,602	1,112	490	0
平成 5年	1,292	930	362	0
平成 6年	2,757	2,011	746	0
平成 7年	1,907	631	1,276	2,405
平成 8年	2,956	950	2,006	3,220
平成 9年	3,337	1,206	2,131	3,798
平成10年	2,280	740	1,540	1,995
平成11年	2,230	772	1,458	0
平成12年	1,240	730	510	7,011
平成13年	2,811	614	2,197	331
平成14年	1,331	655	676	0
平成15年	3,027	811	2,216	2,548
平成16年	3,002	1,004	1,998	3,943
平成17年	3,365	1,750	1,615	2,686
平成18年	3,314	2,026	1,288	2,435
平成19年	2,402	1,956	446	2,197

*沖縄県衛生環境研究所

〒901-1202 沖縄県南城市大里字大里 2085 番地

(2) がん罹患数、DCO等の年次推移

新たにがんと診断された患者、及びがんに罹患し亡くなった人（がん罹患数）は、平成11年以降毎年3,000件以上登録されており、平成16年では3,665件登録されている。

3,665件の内、男性は1,975件、女性は1,690件であった。DCO/Iは39.8%で、前年より割合が増えた（表2）。

(3) 性別、部位別罹患割合

（沖縄県平成16年、全国平成14年）

部位別罹患割合については、男性1位は気管支・肺で23.8%（全国1位は胃21.1%）、2位は大腸で14.6%（全国2位は大腸18.2%）、3位は胃で12.5%（全国3位気管支・肺15.3%）であった。

女性1位は乳房で23.9%（全国1位は大腸17.3%）、2位は大腸で13.7%（全国2位が乳房16.8%）、3位が気管支・肺で12.7%（全国3位は胃14.1%）であった（表3）。

(4) 年齢階級別罹患率全部位

沖縄（平成16年）、全国（平成14）比較

年齢階級別の罹患率（全部位）について、沖縄県は全国と比較して、（85歳以上の女性を除いて）低めに推移している（図1）。

(5) 年齢調整罹患率各部位

沖縄（平成16）全国（平成14）比較

各部位の年齢調整罹患率について、沖縄県は全国と比較して、男女の胃、大腸、肝臓で顕著に低い値を示した。男女の白血病、男の気管支・肺については、沖縄県が全国を上回る値を示した（図2）。

表2. がん罹患数及び届出精度の年次推移

	悪性新生物			届出精度	
	罹患数 (I)	DCO	死亡数 (D)	DCO/I (%)	I/D
昭和63年	2,387	0	1,356	0.0%	1.76
平成元年	2,334	657	1,423	28.1%	1.64
平成2年	2,326	681	1,551	29.3%	1.50
平成3年	2,896	742	1,557	25.6%	1.86
平成4年	2,917	810	1,745	27.8%	1.67
平成5年	3,118	888	1,742	28.5%	1.79
平成6年	3,117	1,051	1,777	33.7%	1.75
平成7年	3,076	991	1,943	32.2%	1.58
平成8年	3,164	1,234	2,026	39.0%	1.56
平成9年	2,803	1,313	2,028	46.8%	1.38
平成10年	2,995	1,409	2,134	47.0%	1.40
平成11年	3,099	1,442	2,101	46.5%	1.48
平成12年	3,339	1,440	2,194	43.1%	1.52
平成13年	3,239	1,329	2,275	41.0%	1.42
平成14年	3,840	1,447	2,411	37.7%	1.59
平成15年	3,911	1,357	2,325	34.7%	1.68
平成16年	3,665	1,460	2,516	39.8%	1.46

表3. 部位別罹患割合 沖縄（平成16年）全国（平成14年）比較

沖縄県 男性		全国 男性		沖縄県 女性		全国 女性	
部位	割合(%)	部位	割合(%)	部位	割合(%)	部位	割合(%)
1位 気管支・肺	23.8	胃	21.1	乳房	23.9	大腸	17.3
2位 大腸	14.6	大腸	18.2	大腸	13.7	乳房	16.8
3位 胃	12.5	気管支・肺	15.3	気管支・肺	12.7	胃	14.1
4位 前立腺	8.3	前立腺	8.6	胃	7.2	子宮	9.3
5位 食道	5.1	肝臓	8.2	子宮	6.3	気管支・肺	8.7

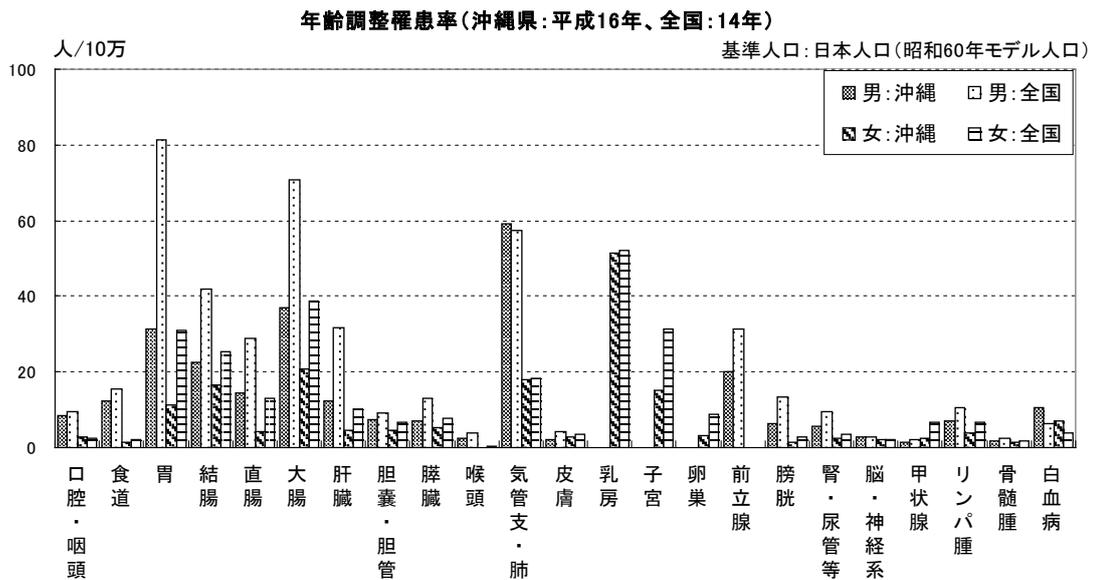


図 1. 年齢階級別罹患率 全部位 沖縄(平成16年)、全国(平成14年)比較

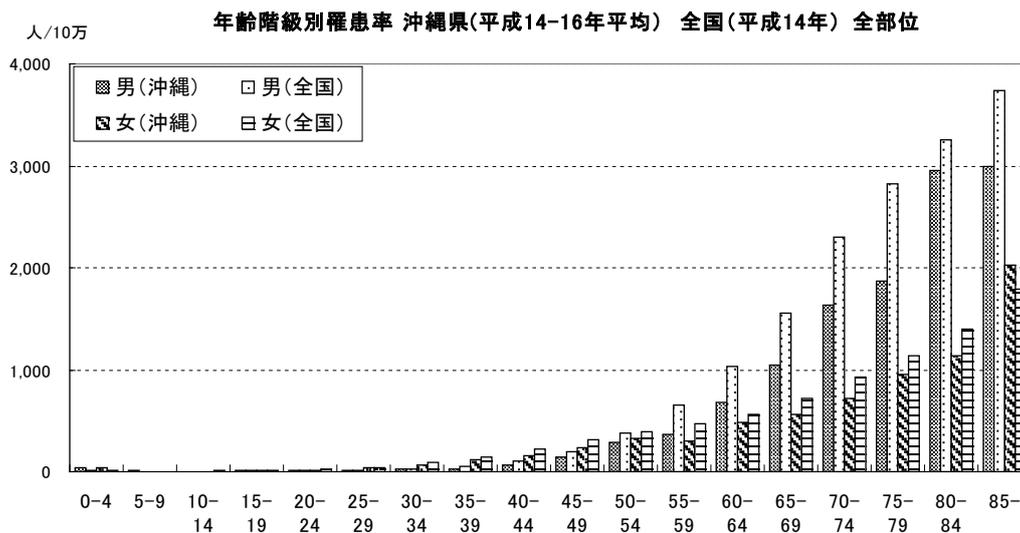


図 2. 年齢調整罹患率各部位 沖縄(平成16年)、全国(平成14年)比較

(6) 主要部位における年齢調整罹患率、年齢調整死亡率、年齢階級別罹患率について(沖縄県、全国比較)

- 1) 全部位の年齢調整罹患率、死亡率の年次推移では、増減を繰り返しながら概ね横ばいの傾向を呈した。年齢階級別罹患率も、概ね全国を下回る値となった(図3)。
- 2) 胃がんについては、年齢調整罹患率及び死亡率の年次推移はともに減少傾向を呈していた。また、年齢調整罹患率、死亡

率、年齢階級罹患率について、全国の値を下回る結果となった(図4)。

- 3) 気管支・肺がんについては、年齢調整罹患率及び死亡率の年次推移について、男性はやや減少、女性は横ばい気味であった。年齢調整罹患率、死亡率、年齢階級別罹患率では、全国より上回る結果となった(図5)。
- 4) 大腸がんについては、年齢調整罹患率年次推移では、男女とも、沖縄県は全国を

- 大きく下回る結果となったが、やや増減を繰り返す形状を呈した。死亡率年次推移では男女とも横ばいの傾向で、罹患率ほどの差異は見られなかった（図6）。
- 5) 肝臓がんについては、年齢調整罹患率及び死亡率の年次推移は、男女ともやや減少傾向を呈した。年齢調整罹患率、死亡率、年齢階級別罹患率は、概ね全国より下回る結果となった（図7）。
 - 6) 前立腺がんについては、年齢調整罹患率及び死亡率の年次推移では増加傾向を示す結果となり、死亡率では平成14～15年は全国を上回る結果となった。年齢調整罹患率、年齢階級別罹患率では全国より下回る結果となった（図8）。

- 7) 乳がんについては、年齢調整罹患率年次推移では全国より低いものの、増加傾向にあった。死亡率年次推移についてはやや増加傾向で、全国より低い値で推移した。年齢階級別の罹患率では概ね全国の値に類似した結果となった（図9）。
- 8) 子宮がんについては、年齢調整罹患率年次推移は、起伏の大きな曲線を呈した。年齢調整死亡率年次推移では全国よりやや上回る値で、概ね横ばい傾向を示す結果となった。年齢階級別罹患率では30代～40代付近では全国より下回る値で、その他は概ね類似した値となった。（図10）。

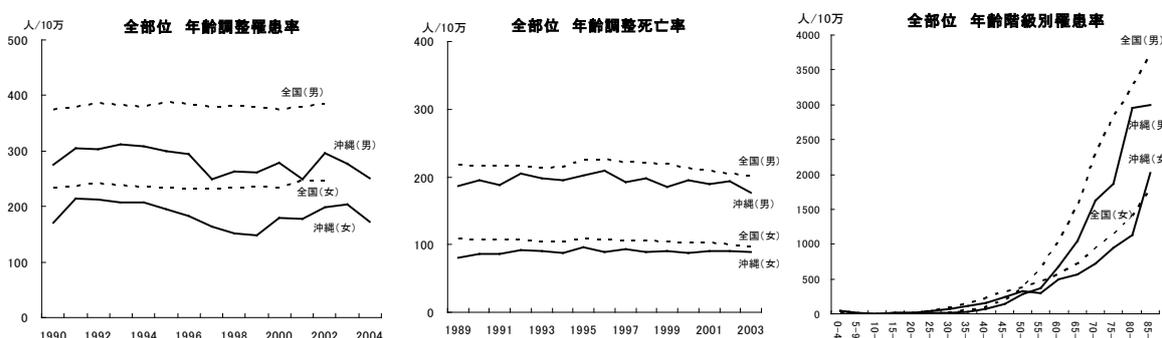


図3. 全部位 年齢調整（罹患率、死亡率）年次推移、年齢階級別罹患率 沖縄、全国比較
 ・年齢調整罹患率、年齢調整死亡率：基準人口・昭和60年日本人口
 ・年齢階級別罹患率：沖縄・平成14～16平均 全国・平成14年

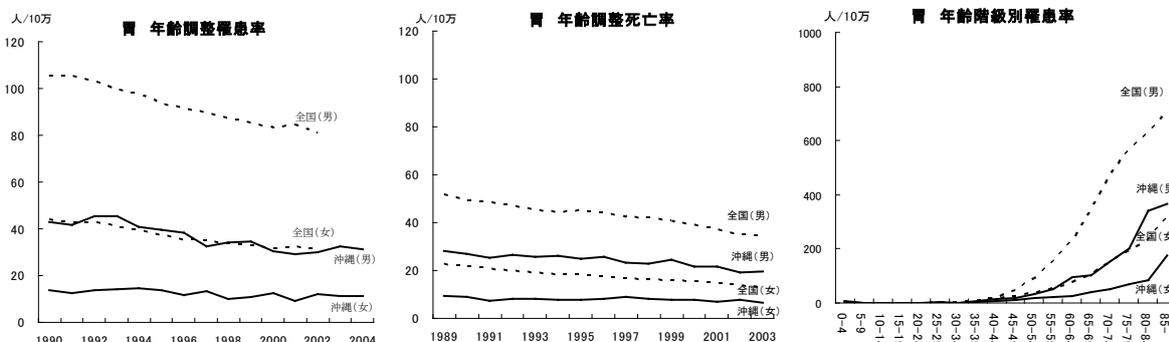


図4. 胃がん 年齢調整（罹患率、死亡率）年次推移、年齢階級別罹患率 沖縄、全国比較

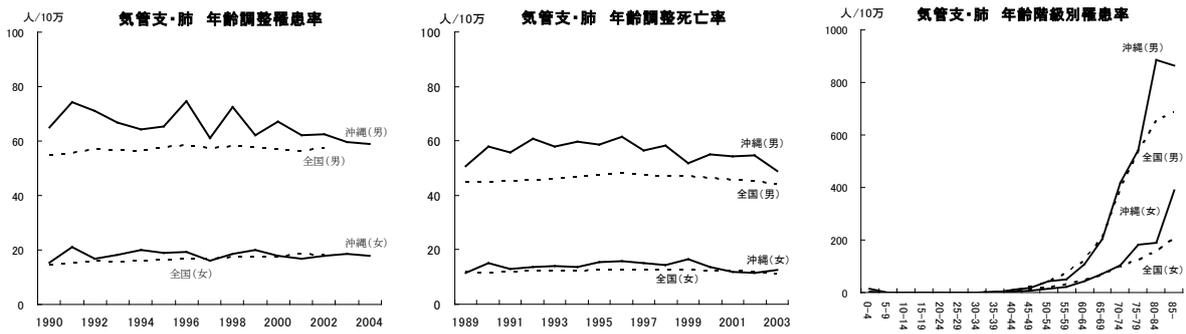


図 5. 気管支・肺がん 年齢調整（罹患率、死亡率）年次推移、年齢階級別罹患率 沖縄、全国比較

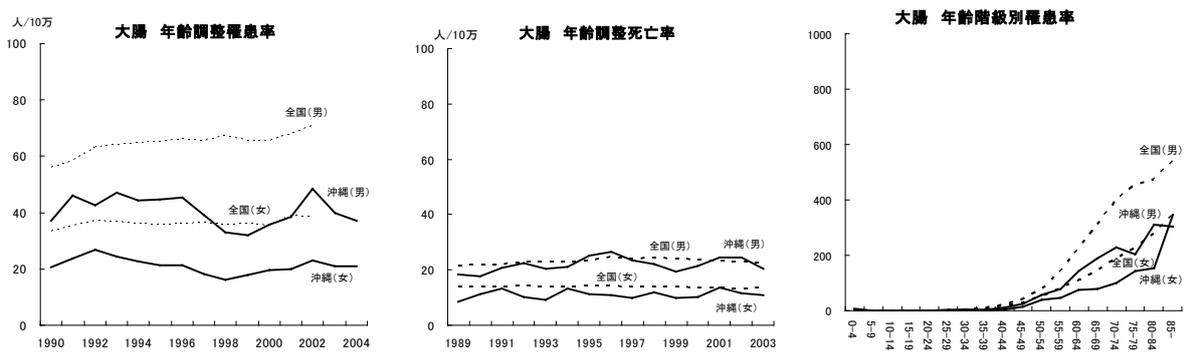


図 6. 大腸がん 年齢調整（罹患率、死亡率）年次推移、年齢階級別罹患率 沖縄、全国比較

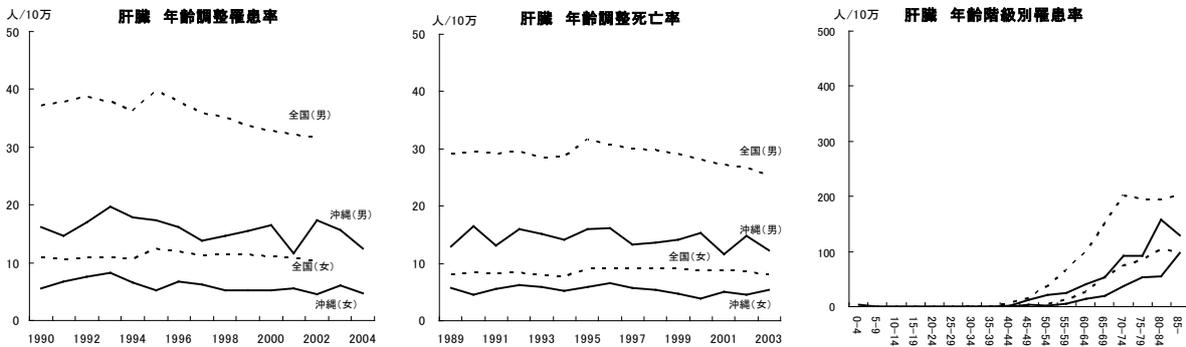


図 7. 肝臓がん 年齢調整（罹患率、死亡率）年次推移、年齢階級別罹患率 沖縄、全国比較

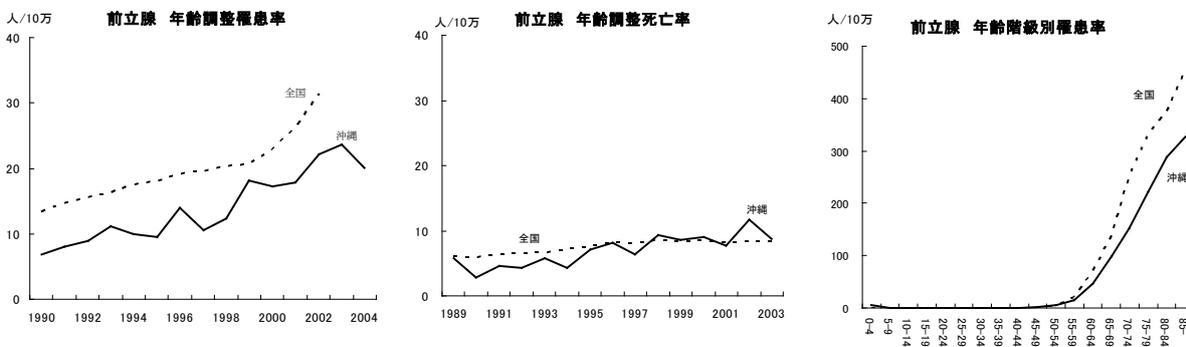


図 8. 前立腺がん 年齢調整（罹患率・死亡率）年次推移、年齢階級別罹患率 沖縄、全国比較

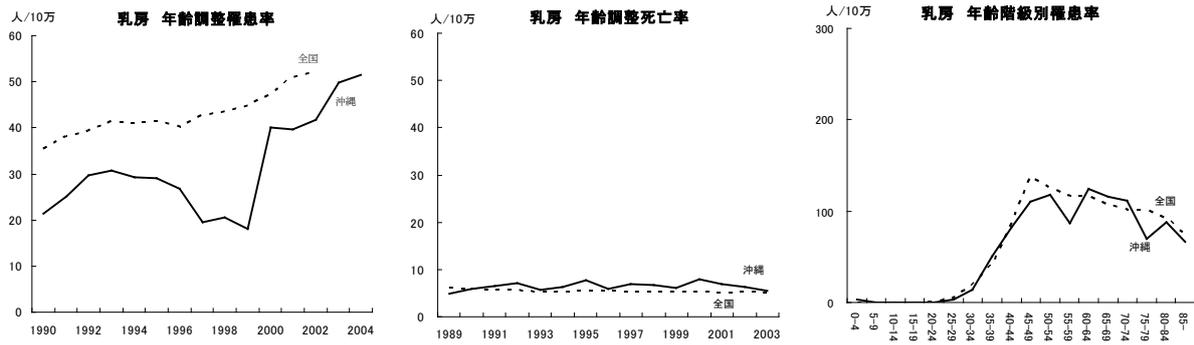


図9. 乳がん 年齢調整（罹患率、死亡率）年次推移、年齢階級別罹患率 沖縄、全国比較

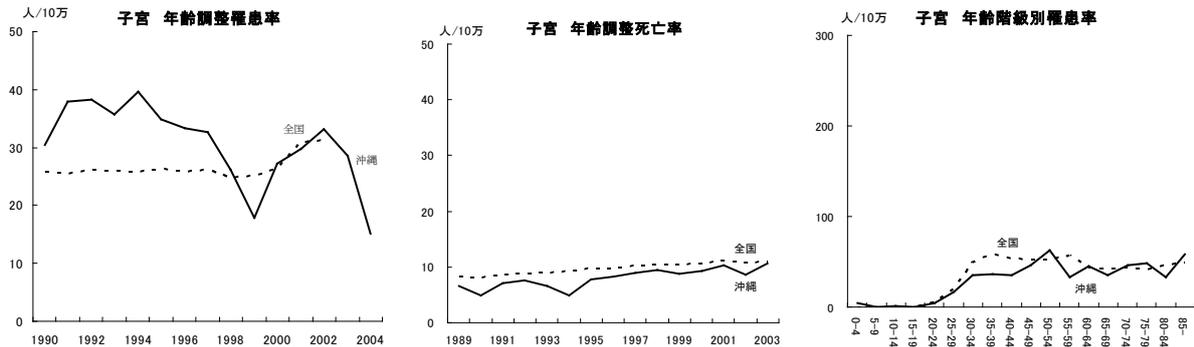


図10. 子宮がん 年齢調整（罹患率、死亡率）年次推移、年齢階級別罹患率 沖縄、全国比較

表4. 年齢調整罹患率各部位 沖縄（平成16年）、全国（平成14年）比較

	男性						女性					
	沖縄県 平成12年	13年	14年	15年	16年	全国 14年	沖縄県 平成12年	13年	14年	15年	16年	全国 14年
全部位	278.3	248.4	295.4	277.0	251.6	385.0	180.1	177.0	198.5	203.1	173.2	247.4
口腔・咽頭	14.6	12.2	15.4	15.1	8.4	9.7	2.0	4.1	4.5	2.8	2.8	2.6
食道	15.1	10.2	10.9	13.0	12.4	15.5	1.0	1.1	0.8	1.7	1.4	2.2
胃	30.5	29.2	29.8	32.5	31.2	81.3	12.7	9.3	11.9	11.3	11.1	31.1
結腸	20.3	25.2	28.7	24.9	22.7	41.9	13.3	14.3	17.1	16.1	16.5	25.5
直腸	15.8	13.3	20.3	15.1	14.5	28.8	6.3	6.1	5.8	5.2	4.4	13.1
大腸	35.7	38.5	48.3	40.0	37.1	70.7	19.7	19.8	22.9	21.1	20.9	38.6
肝臓	16.5	11.6	17.3	15.6	12.5	31.6	5.2	5.6	4.5	6.1	4.7	10.3
胆嚢・胆管	9.4	6.8	9.9	7.8	7.5	9.3	6.8	5.9	5.9	5.8	4.7	6.7
膵臓	8.6	6.2	8.3	9.7	6.9	13.1	5.2	5.0	6.0	7.5	5.4	7.6
喉頭	4.3	2.6	3.5	3.5	2.3	3.8	0.1	0.2	-	0.2	0.1	0.2
気管支・肺	67.3	62.1	62.5	59.6	59.1	57.4	17.7	16.8	18.0	18.5	17.9	18.2
皮膚	4.9	3.9	4.4	2.8	2.0	4.2	4.0	3.5	3.8	4.4	2.9	3.5
乳房	-	-	-	-	-	-	40.1	39.6	41.7	49.9	51.4	52.2
子宮	-	-	-	-	-	-	27.2	29.7	33.1	28.5	15.1	31.3
卵巣	-	-	-	-	-	-	5.1	6.2	7.1	6.1	3.2	8.7
前立腺	17.2	17.9	22.1	23.7	20.1	31.4	-	-	-	-	-	-
膀胱	7.4	5.6	8.7	4.3	6.5	13.5	3.2	2.2	1.8	1.4	1.5	2.9
腎・尿管等	7.8	7.0	7.1	6.9	5.8	9.5	1.8	3.0	2.2	3.4	2.3	3.6
脳・神経系	2.4	3.8	2.5	3.9	2.8	2.9	2.4	2.9	3.1	3.0	2.2	2.0
甲状腺	1.3	0.6	0.9	1.0	1.3	2.1	3.7	1.7	3.9	4.6	2.4	6.8
リンパ腫	9.5	7.1	8.2	8.8	7.2	10.5	5.8	3.5	6.2	5.7	3.9	6.5
骨髄腫	1.9	1.8	1.5	1.4	1.6	2.3	1.1	1.1	1.8	1.5	1.5	1.6
白血病	10.1	9.2	11.7	11.8	10.7	6.3	6.8	6.5	9.0	8.1	7.1	4.0

(7) 考察

沖縄県の年齢階級別罹患率(平成14~16年平均)については、全国(平成14年)と比較すると、胃がん、大腸がん、肝臓がん、前立腺がんにおいて、概ね全国より低い結果となった。

年齢調整罹患率年次推移では、胃がん、大腸がん、肝臓がんは全国より低く推移し、やや減少及び横ばい傾向にあった。気管支・肺がんは全国をやや上回る結果となった。前立腺がん、乳がんは、全国より低い水準にあるものの、全国と同様に増加傾向にあった。

年齢調整死亡率年次推移については、胃がん、気管支・肺がん、大腸がん、肝臓がん、子宮がんは概ね横ばい(あるいはやや減少)となっていたが、前立腺がん、乳がんについては、やや増加傾向を示す結果となった。

沖縄県のがん罹患の状況は、全国と比較して概ね低い水準にあるものの、全国より罹患率の高いもの(気管支・肺がん)、罹患率年次推移で増加傾向にあるもの(前立腺がん、乳がん)、死亡率年次推移で増加傾向にあるもの(前立腺がん、乳がん)があり、当該部位のがん対策等について、より強化する必要があるものと思われる。

平成19年における登録票の収集は、約2,400件と前年より大幅に減少しており、結果として平成16年がん罹患集計のDCO/Iにも影響を及ぼしたと思われる。

出張採録の大幅減により、一部のがん罹患部位については、他の部位よりも実際の状況から乖離が大きいと危惧されるものがある。

沖縄県のがん対策推進計画は、がんの罹患と関連のある生活習慣(発症リスク)の改善による「がんの予防」や、がんの早期発見を目指した「がん検診」の推進、放射線療法や化学療法の推進及びこれらを専門的に行う医師等の育成などを内容とする「がん医療」の充実などにより、がんで死亡する人を減少させることを目標としている。

がんの実態を正確に把握し、がん対策の企画立案、評価、適切ながん医療の提供に資するためには、がん登録をさらに推進する必要がある。具体的には、①登録票の収集強化(効率的な出張採録及び電子情報媒体等を用いた届出等)や、②生存率調査の実施等を図る必要がある。

参考文献・website

1. 沖縄県衛生環境研究所企画情報室(2005)26 ショック! 沖縄県の平均寿命と死亡状況~平成16年度地域保健推進特別対策事業より~
2. 国立がんセンターがん対策情報センターがん情報サービス 1. 死亡データ
2. 罹患データ
<http://ganjoho.ncc.go.jp/professional/statistics/statistics.html>
3. 厚生労働省大臣官房統計情報部人口動態・保健統計課
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/suii05/index.html> 人口動態統計年報主要統計表

Summary

The cancer registration of Okinawa prefecture has been executed since 1988.

This cancer registration has been aimed to total the contraction situation of cancer in Okinawa prefecture, to understand the realities, the medical treatment situation, the living situation and to consider preventive measure.

Okinawa Prefecture is promoting the cancer measures and settled on 2008 Okinawa prefecture cancer measures promotion plan.

We report that the relation between the current state of the cancer registration and the promotion plan of the prefecture which considered based on the cancer registration report (contraction total in 2004) in 2007.